

令和6年度 広島女学院大学、比治山大学・比治山大学短期大学部と東区役所との地域連携事業報告

No.	分類	項目(事業)	事業の目的	連携内容	実施日・実施期間	参画学生数等	担当			備考	
							東区役所	広島女学院大学	比治山大学・比治山大学短期大学部		
1	1	まちづくりの推進	夏の夜、祈りと平和のタペ	原爆の日を前に来広される外国人に8月5日のイベントをアピールし、七社寺の魅力を感じてもらおうことで、日本文化への関心を深めてもらうための、国際交流を図る。	魅力づくり事業「夏の夜、祈りと平和のタペ」イベントのチラシ・ポスターのデザイン協力、七社寺の通訳ガイドを実施した。	令和6年8月5日	広島女学院大学 学生4名 教職員3名 比治山大学 学生1名	地域起こし推進課	総合学生支援センター 教務課	短期大学部美術科	
2			エキキタ・スイーツラリー	エキキタの魅力の一つであるスイーツ店を巡るスタンプラリーの企画を実施することで、多くの方にエキキタを訪れていただき、エキキタのにぎわい・元気、人の交流を取り戻して、地域の経済活動への支援につなげる。	「エキキタ・スイーツラリー」において、企画への参画やリーフレット・テレビ出演等のPR活動等によりイベントの活性化を推進した。	令和6年9月 ～ 令和7年3月	広島女学院大学 23名 比治山大学 16名		人間生活学部 管理栄養学科	健康栄養学部 管理栄養学科 短期大学部 総合生活デザイン学科	
3			区長と語る会	多様な人材が人間らしく働けるまち(産業人材の確保・育成)、学生・若者に優しいまちの実現に向け、大学生から意見を聴取・連携を強化・取組を加速化し、もって就職期を迎える若い世代(20歳～29歳)の転出超過抑制等を図る。	大学生に本市及び東区の施策を周知し、学生・若者に寄り添った取組等について大学生・若手職員・区長が意見交換し、施策の実現に繋げた。	令和6年7月 ～ 令和6年12月 (語る会：12月22日(日))	広島女学院大学 13名 比治山大学 6名	区政調整課	研究支援・社会連携センター	生涯学習・地域連携センター	
4	2	教育・文化・スポーツの振興及び健康づくりの推進	大学の地域貢献の取組などを紹介する展示	大学の行事や地域貢献の取組を通して、地域の知的財産である大学をPRするとともに、大学と地域の協力関係を紹介する。	区役所1Fロビーに展示コーナーを設け、各大学の地域貢献の取組の紹介を行った。	比治山大学：令和7年2月17日(月)～2月28日(金) 女学院大学：令和7年3月3日(月)～3月14日(金)	広島女学院大学 比治山大学 各教職員・学生	地域起こし推進課	研究支援・社会連携センター	生涯学習・地域連携センター	
5			城下町広島の歴史講座	東区の魅力と活力向上推進事業並びに公民館事業における歴史講座の運営への参加を通して、社会教育主事の実習支援をする。	希望する学生を対象に、二葉の里歴史の散歩道ボランティアガイドの会・二葉公民館・東区役所が主催する「城下町広島の歴史講座」の運営(準備、受付、片付けなど)をガイドの会や公民館とともに実施した。	令和6年10月5日	広島女学院大学 学生2名		人間生活学部 生活デザイン学科	—	
6			二葉の里歴史の散歩道巡り(二葉の里～山根町)	「二葉の里歴史の散歩道」の七社寺の歴史並びに七社寺と地域住民・東区役所が協働している事業の紹介を通して、地域に誇りを持ってもらうとともに良い地域資源の活用のあるあり方を考えるよう促す。	希望する学生を対象に、ボランティアガイドの会会員の解説で「二葉の里歴史の散歩道巡り」を実施した。	令和6年6月18日 令和6年6月25日 令和6年11月16日	広島女学院大学 学生4名 教職員2名	総合学生支援センター 教務課 人間生活学部 生活デザイン学科	—		
7			広島ユース・ホステル跡地の活用検討	広島ユース・ホステル跡地の活用について、地域住民や関係者の意見を踏まえて検討を行う。	ワークショップにおける専門的な知見に基づくアドバイスや、試行実施における学生による運営補助(受付業務、子どもの遊びにおけるプレイリーダー(補助))を得て、ワークショップ及び試行実施を開催することができた。	第1回ワークショップ 令和6年9月26日 冒険遊び場試行実施 令和6年11月9日 第2回ワークショップ 令和7年1月16日	第1回ワークショップ 教職員1名 冒険遊び場試行実施 教職員1名、学生8名 第2回ワークショップ 教職員1名	地域起こし推進課 (経済観光局観光政策部観光企画担当)	—	生涯学習・地域連携センター 短期大学部幼児教育科	
8			がん予防講演会	がん予防に関する基礎知識の普及啓発を行う。	大学と内容を協議し、大学生と職員等を対象に、がん予防に関する講演会を実施する。	令和6年11月19日	151人	地域支えあい課	人間生活学部 管理栄養学科	—	
9			大学祭における栄養・食生活改善の普及啓発	若い世代に対する食育推進、健康づくりに関する普及啓発を行う。	管理栄養学科学生と連携し、食育の推進、健康づくり(飲酒、歯科保健等)に関する展示等を行った。	(広島女学院大学) 11月10日 (比治山大学) 10月26日	(広島女学院) 管理栄養学科 学生15名(うち14名当日従事) (比治山大学) 管理栄養学科学生5名 (うち2名当日従事)		人間生活学部 管理栄養学科	健康栄養学部 管理栄養学科	
10			エイズ啓発街頭キャンペーン	エイズに関する正しい知識等の普及啓発活動を行い、エイズまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消等を図る。	広島駅北口の通行人に対し、エイズ啓発用のパンフレットを差し込んだティッシュを配布し、啓発活動を行った。	11月29日	(広島女学院) 管理栄養学科学生ボランティア2名		人間生活学部 管理栄養学科	健康栄養学部 管理栄養学科	

令和6年度 広島女学院大学、比治山大学・比治山大学短期大学部と東区役所との地域連携事業報告

No.	分類	項目(事業)	事業の目的	連携内容	実施日・実施期間	参画学生数等	担当			備考	
							東区役所	広島女学院大学	比治山大学・比治山大学短期大学部		
11	2	教育・文化・スポーツの振興及び健康づくりの推進	認知症サポーター養成講座	高齢化の進展に伴い、認知症の方も確実に増加することが予想されている。本人や家族が住み慣れたまちで安心して暮らし続けられるためには、認知症を正しく理解し、地域で認知症の方々を温かく見守る応援者（認知症サポーター）を一人でも多く育成する。	専門の講習を受けた認知症アドバイザーが、標準テキストとロールプレイを交えて90分の講義を行った。 《標準テキストの内容》 ・認知症とは 症状と支援 診断と治療 認知症の人への関わり方 ・認知症サポーターのできること	(広島女学院大学) 7月13日 (比治山大学) 6月20日	(広島女学院) 管理栄養学科 学生52名 (比治山大学) 子ども発達教育 学科学生19名	地域支えあい課	人間生活学部 管理栄養学科	現代文化学部 子ども発達教育学科	
12			ふくだカレッジ	東区内の比治山大学が持つ優れた研究・教育機能を日常生活や地域と結びつけ、公民館で学習する機会を提供する。地域の生涯学習に対する意欲向上と学習活動を支援する。	比治山大学の協力により、住民に様々なテーマについてアカデミックで分かりやすく講義していただく。「ストレスと上手につきあう」「太田川流域の弥生時代」「工芸のお話を聞いて箸置きをつくりませんか？」	令和6年 ①7月3日 ②7月20日 ③8月28日	比治山大学 教職員3名	二葉公民館 (福田公民館)	—	生涯学習・地域連携 センター	
13			へさかカレッジ	公民館の近隣にある比治山大学と連携し、健康・環境・食文化をキーワードにして幅広い問題について様々な視点から考察し学習する。	比治山大学の協力により教員の中から講師を選定していただくとともに、大学の公開講座パンフレットに掲載していただき、広く受講者を募集していただいた。「【広島×文学】」	令和6年8月23日	比治山大学 教職員1名	二葉公民館 (戸坂公民館)	—	生涯学習・地域連携 センター	
14			うしたカレッジ	地元の教育機関である比治山大学と連携し、公民館でオープンカレッジを開催することで、地域住民の高い学習要求に対応した生涯学習機会を提供する。	比治山大学の協力により教員の中から講師を選定していただき、英会話講座(初級)について学習した。	令和6年 ①11月9日 ②11月17日 ③11月30日	比治山大学 教職員3名	二葉公民館 (牛田公民館)	—	生涯学習・地域連携 センター	
15			早稲田アカデミー	公民館エリア内にある大学が持つ優れた研究・教育機能を日常生活と結びつけ、身近な課題として公民館で学習する機会を提供する。住民の学びへの参加を推進し、その学びを早稲田地区のまちづくり活動に生かし、地域の人材育成につなげる。	地域課題や早稲田女性会からの要望を反映した案を基に、教務課に依頼し、講師を選定していただく。広島女学院大学の協力により年6回程度、講義を行った。	令和6年 ①7月19日②8月26日 ③9月27日④10月25日 ⑤11月22日⑥12月13日	広島女学院大学 教職員6名	二葉公民館 (早稲田公民館)	研究支援・社会連 携センター	—	
16			早稲田ぐるーばるサロン	国際理解、多文化共生の地域づくりやコミュニケーション等について体験的に学ぶ。	広島女学院大学の留学生3名を迎え、自国の文化や社会生活についてお話を聞いたり竹細工のクラフトを行った。	令和6年 2月15日	広島女学院大学 職員2名 学生3名	二葉公民館 (早稲田公民館)	研究支援・社会連 携センター	—	
17	3	人材の育成	常設オープンスペース「東区子育て交流ひろば“ぼっぼひがし”」への参加	大学生が乳幼児とその保護者と交流することで、生命の大切さや思いやりの心を育む。	比治山大学短期大学部幼児教育科の学生が子育て交流ひろばでパネルシアターや手遊びを実施し、親子と交流した。	令和7年1月22日	比治山大学 学生2名 教職員1名	地域支えあい課	—	短期大学部幼児教育科	
18			広島女学院の学生に対し、出産・子育てに関する助産師の講演の実施	出産・子育てに関する助産師の講演を実施し、生命の大切さについて理解を深めるとともに、思いやりの心を育む。	広島女学院大学の学生に対し、出産・子育てに関する助産師の講演を実施した。	令和6年8月5日	広島女学院大学 3年生51人、 教諭3人		人間生活学部 管理栄養学科	—	